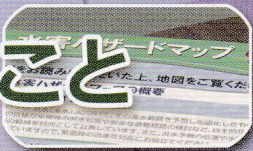
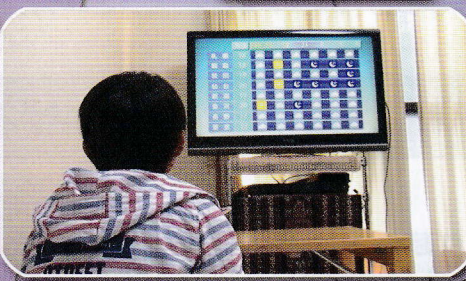


大雨のとき気をつけること

なん 早めに避難するヒント



小学校 中・高学年向け / 約18分
文部科学省選定



豪雨の危険を考える

検証 西日本豪雨

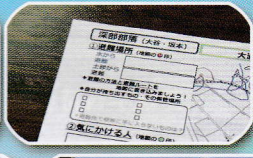


中学生・高校生向け / 約20分
文部科学省選定



助ける、助かる

検証 西日本豪雨



一般向け / 約22分
文部科学省特別選定



監修の言葉

死者200人を超え、平成最悪の水害となった西日本豪雨。この豪雨は広い範囲で数日間続き、広域災害となったのが大きな特徴で、今までに例のない規模となりました。いつやむとも知れない雨が河川の水位を上昇させ、山はたっぷり水を含み、災害がどこで起きてもおおしくない緊張状態……多くの人は、集中豪雨とは異なる長雨の怖さを感じたと思います。

今回の豪雨で改めて想い知らされたのは、気象情報をこまめにチェックし、危険が迫っているときには、ためらわずに避難することです。情報は、災害時には人の命を左右する命綱となります。ですから、情報は【伝える】だけではなく、【伝わる】ことが大切で、住民の避難行動に結びつかなくては意味がありません。また、自分の住む地域にはどんな災害リスクがあるかを確認しておくことも大切です、ハザードマップの役割は極めて重要です。

この作品では、大水害が起きるメカニズムを明らかにし、大水害から命を守るための情報と避難のあり方をわかりやすく描いています。また、実際に今回の豪雨で愛媛県大洲市三善地区の約900名の住民は、浸水被害を受けても取り残された住民は一人もなく、死傷者ゼロでした。それは普段から、住民一人ひとりが訓練を通して、避難準備の心構えと避難行動を身につけていたからです。一般向け作品では、三善地区の普段の避難準備のあり方も捉えています。

近い将来の大水害に備えるために、いま私たちが身につけておかなければならない必要な知識や心構えを学習できる内容となっています。



東京大学大学院情報学環
総合防災情報研究センター
特任教授 片田 敏孝

西日本を襲った「平成30年7月豪雨」により、土砂崩れや河川の氾濫が広い範囲で同時多発的に発生し、200人以上の死者を出す未曾有の災害となりました。日本では水害が毎年のように起きていますが、今後は地球温暖化の影響で、ますます激しい大雨が増え、と懸念されています。

本作品は、まず大雨が発生する原因とそれがどのような危険を生み災害となっていくかを、過去の豪雨被害の実態と被災者の声を紹介しつつ、イラストやCGを組み合わせてわかりやすく解説します。そして、危険が迫っていることを事前に知るための情報収集の方法、気象庁などから出される災害情報の内容を紹介し、さらに、いざというときの身の守り方や、日頃準備しておくべきことを示しています。

小学校中・高学年向け
約18分

文部科学省選定

大雨のとき気をつけること 早めに避難するヒント

- 急な大雨、どうしよう？
学校の帰り道、大雨が降ってきたらどこに避難すればいい？
- 集中ごう雨と台風
そのメカニズムをCGでわかりやすく解説。
- 集中ごう雨からいのちを守る
自分たちが身を守るためにできることは？



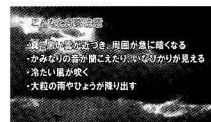
ライブラリー価格 本体 ¥65,000+税
学校価格(小学校のみ) 本体 ¥33,000+税

中学生・高校生向け
約20分

文部科学省選定

豪雨の危険を考える 検証 西日本豪雨

- 大雨発生のしくみ
集中豪雨や台風が起こる仕組みをCGで解説。
- 大雨による災害
大雨がもたらす洪水、土砂災害、土石流などについて。
- 大雨から身を守る
住んでいる地域のどこにどのような危険があるのか、予め知っておくことが大切。



ライブラリー価格 本体 ¥65,000+税
学校価格(中学校・高校のみ) 本体 ¥33,000+税

一般向け
約22分

文部科学省特別選定

助ける、助かる 検証 西日本豪雨

- 大雨と災害
集中豪雨や台風の仕組みを解説。大雨が引き起こす災害とは？
- 身を守る備えと行動
ハザードマップの活用法や、災害情報の入手法・解説など。
- 地域のでいのちを守る
過去の水害で死傷者ゼロだった地域を取材し、実際に行った防災計画を詳しく紹介する。



ライブラリー価格 本体 ¥65,000+税

監修 東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター
特任教授 片田 敏孝

協力・画像提供等 大洲市／三善公民館／三善自治会／気象庁／
国土交通省九州地方整備局 大隅河川国道事務所／ピクスタ

企画・制作統括 高木 裕己 脚本・演出 川崎 けい子

制作・著作／株式会社 映学社
■DVD [カラー]
■2019年・映学社作品

●お問い合わせ、お買い上げは……

北辰映像株式会社

埼玉県さいたま市緑区三室2190-2 〒336-0911
電話048-810-5277 Fax048-876-2955